

LCDを使用した口頭発表について

本大会では、口頭発表のためにLCDプロジェクターとOHPを準備しました。
LCDを使用される方は、下記の事項にご注意ください。

【大会で用意するもの】

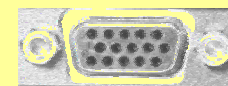
- ・液晶プロジェクター（日立 CP-X327J他）
- ・接続ケーブル（コネクタはミニD-Sub15ピン端子(オス)）
- ・モニタ切替器（サワザライ SW-EV4、2～4台のPCの切替ができます）
- ・OHP
- ・PC用電源



ミニD-Sub15ピン端子(オス)

【発表者が準備するもの】

- ・**パソコン**（ご使用予定のPCの映像出力端子（ミニD-Sub15ピン端子(メス)）が異なる場合は接続アダプタをご自身でご用意ください。）
- ・**プレゼンテーションファイルのバックアップ**



ミニD-Sub15ピン端子(メス)

【注意事項】

発表時におけるトラブルを極力避けるために、下記の注意事項をよくお読みください。

(1) 機材の準備

◇液晶プロジェクターおよびOHPは各会場に用意しております。

◇大会では発表用のパソコンは用意しません。

◇接続ケーブルのコネクタはミニD-Sub15ピン端子(オス)です。
このコネクタとお持ちのPCの映像出力端子が異なる場合は
接続アダプタをご自身でご持参ください。



ミニD-Sub15ピン端子(オス)

◇映像解像度: XGA (1024 × 768)。これ以上の解像度はサポートしていません。

(2) 発表中のトラブル

- ◇口頭発表1件につき**発表時間12分、討論時間2分、交代時間1分**を厳守していただきます。予想外のPC再起動などに要する時間も発表時間(合計15分)に含まれますのでご注意ください(PC設定ミス等が原因の時間延長は認めません)。
- ◇万が一パソコンにトラブルが生じ、持ち時間内に修復が不可能と判断された場合には、別の時間帯への変更をお願いすることがありますので、プレゼンテーションファイルのバックアップをご用意ください。
- ◇PCおよびOHPの操作は演者ご自身あるいは共同発表者などの協力で行ってください。

(3) 試写会場の設置(1階106会議室、 2階203会議室)

* 1階106会議室および
2階203会議室において
試写ができます。

PC切替器への接続手順も含めて
発表前に余裕をもって、試写、確認
されることを強くお奨めします。

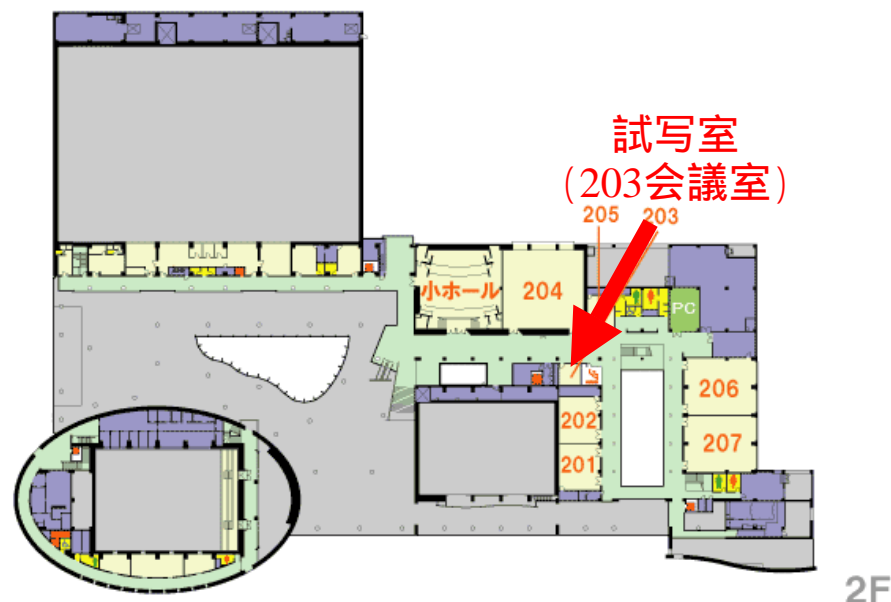
< 試写会場開設期間 >

8月2日(月) 18:00 ~ 20:00

8月3日(火) 8:00 ~ 18:00

8月4日(水) 8:00 ~ 18:00

なお、最終日**8月5日(木)**には、試写室
の設定はありませんので、前日までに
試写、確認を行ってください。



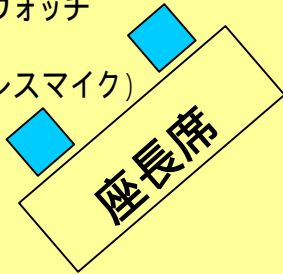
口頭発表会場

掲示パネル

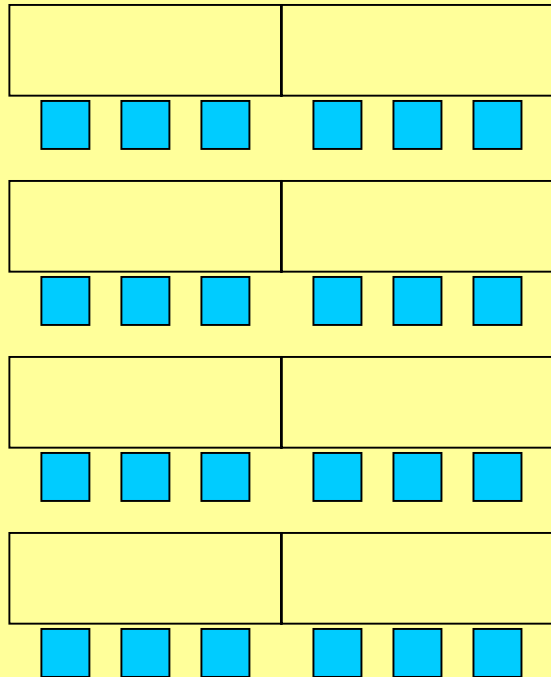
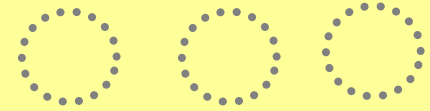
スクリーン

注)ワイヤレスマイクは、小ホール、107、108、204、206、207にて使用

- ストップウォッチ
- ベル
- (ワイヤレスマイク)

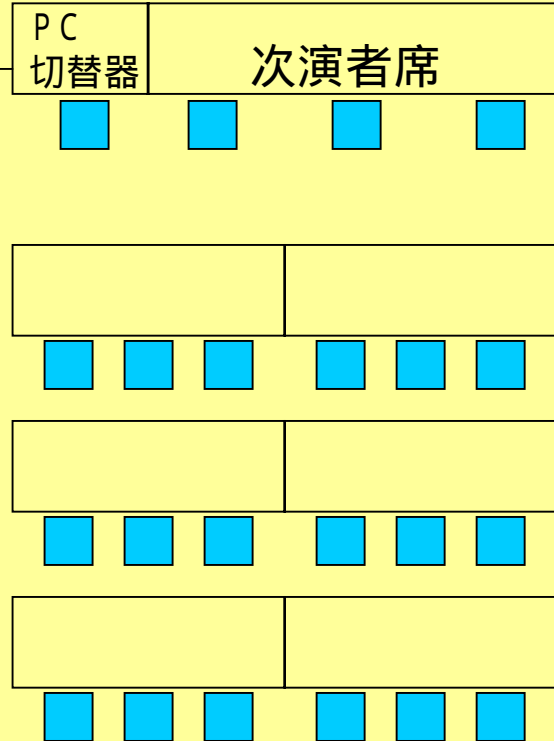
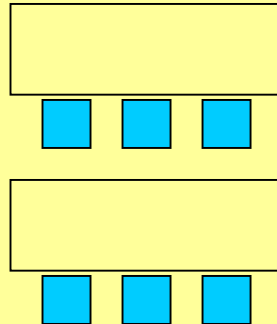


- 手元灯
- レーザーポインタ
- モニター接続ケーブル (1m, 1.5m, 2m各1)
- テーブルタップ(4つ口)
- (ピンマイク)



OHP

LCD



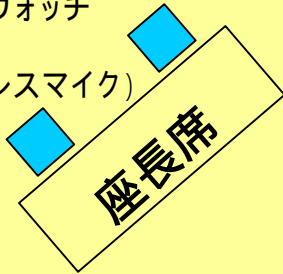
小ホール

掲示パネル

スクリーン

- 手元灯
- レーザーポインタ
- モニター接続ケーブル (1m, 1.5m, 2m各1)
- テーブルタップ(4つ口)
- (ピンマイク)

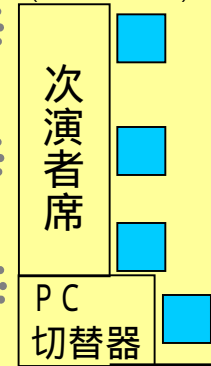
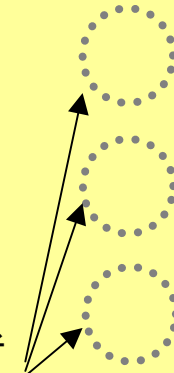
- ストップウォッチ
- ベル
- (ワイヤレスマイク)



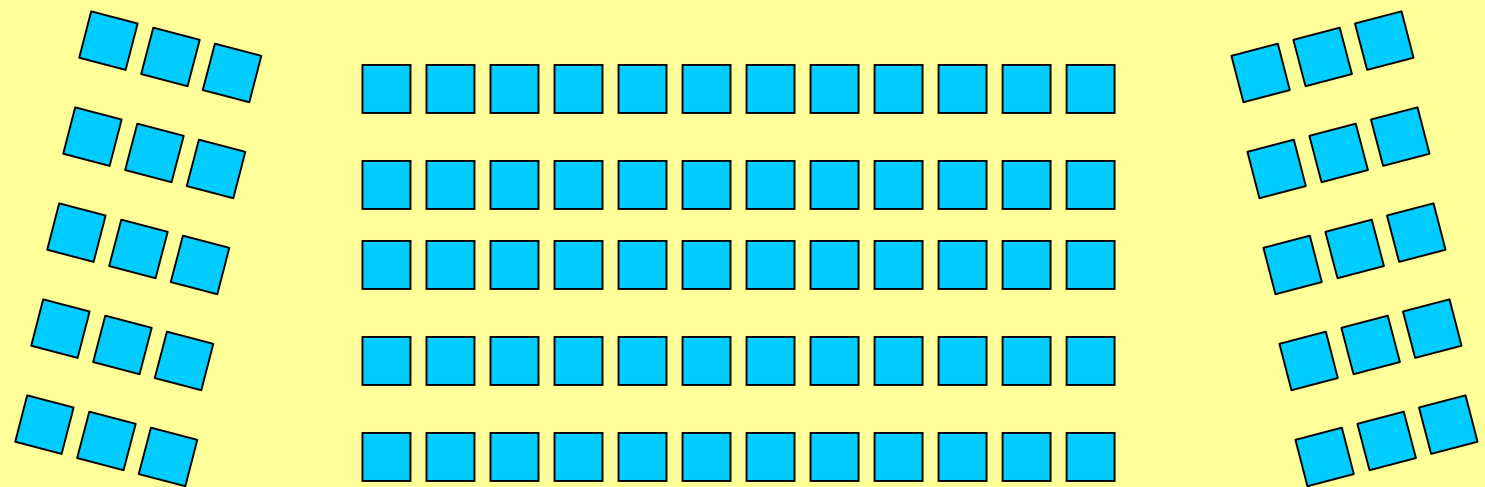
OHP

ステージ

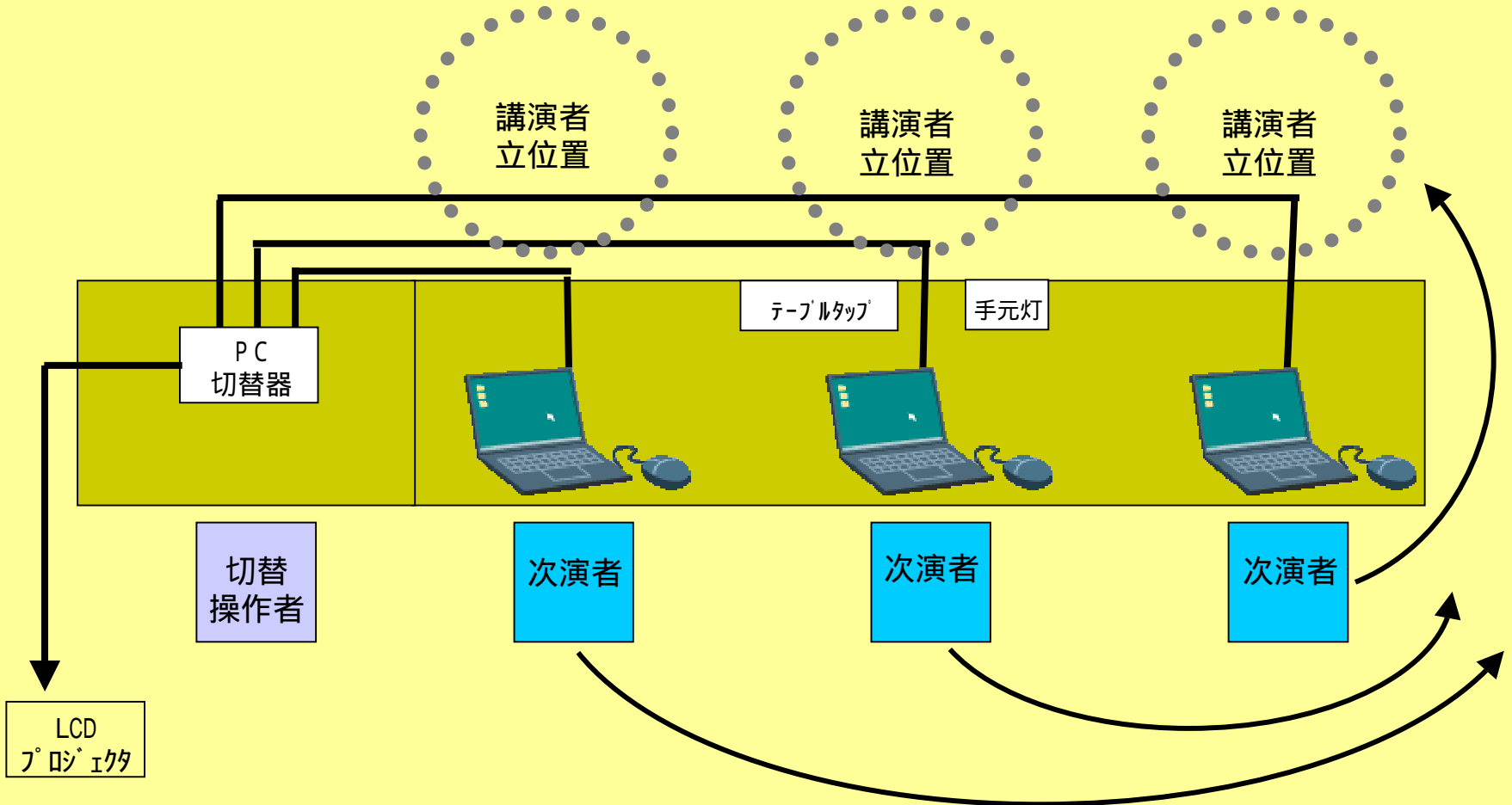
講演者立位置



LCDへ



次演者席および講演者立位置



接続から発表までの手順

はじめに

- ◇PCに液晶プロジェクターを接続しただけでは、PCの画面は投影できません。
- ◇発表までにご使用のPCの説明書を熟読し、外部モニタへの正しい接続・切り替えの方法を確認してください。
- ◇ここでは、一般的な接続・設定の方法を説明します。但し、PCの機種ごとに相違がありますから、この説明だけを頼りにしてはいけません。
- ◇Windows機でもMac OS機でも、PCを再起動せずに切り替える方法があります。手元の普通のモニタなどに接続して練習しておきましょう。
- ◇事前に試写、確認をしていたにもかかわらず偶発的なパソコンのトラブルなどにより、**開始合図後1分たってもPCの画面が投影できない場合は、座長より別の時間帯への変更が指示されます。**
- ◇**万が一に備え、プレゼンテーションファイルのバックアップをご用意ください。**
- ◇可能であればPCの表示を液晶プロジェクターの解像度に合わせましょう。液晶プロジェクターの表示解像度はXGA(1024×768)です。

講演者交替の手順

液晶プロジェクターにはモニタ切替器を介して、液晶プロジェクター1台に対して2～4台のPCが接続されるようにしてあります。

演者交替手順の概要は次のようになります。

1. PCを起動し、発表に必要な書類やプログラムを開いておきます。
 2. 直前の発表までに空いている接続ケーブルを自分のPCに接続します。
(必要な場合はAC電源にも接続)
 3. 発表時間になったら、**係が**モニタ切替スイッチを切り替えますので、PC側の外部出力切替を行い、スクリーンに画面が表示されたのを確認してから、PCの向きを変え講演者位置に移動します。
 4. 自分の発表が終わったら、次演者席に戻りPCから接続ケーブル等を外します。
- * 接続開始は、ご自身の発表の3つ前の発表から直前の発表まで。

機種ごとの具体的な手順

(Windows機)

Windows機では、外部モニタが接続されているとき、内蔵モニタまたは外部モニタのいずれか、あるいは同一の画面をその両方に表示できます。連続した画面を両方に表示できる機種もあります。

注意:Windows機は機種による機能や操作法の差異が特に大きいので、取扱説明書で操作法をよく確認してください。

1. PCを起動し、発表に必要な書類やプログラムを開いておきます。
2. 直前の発表までにPCが起動した状態で、空いている接続ケーブルを接続します。
3. 発表時間になったら、**係が**モニタ切替スイッチを切り替えます。
4. Fn+F3(FnキーとF3キーを同時に押す)で画面の表示先を液晶プロジェクターに切り替えます。Fn+F3を押すごとに、内蔵 外部 両方 内蔵...と、順に切り替わります。

注意:メーカーや機種により、Fn+F5だったりして、バラバラです。取扱説明書で操作法をよく確認してください。

5. スクリーンに画面が表示されたのを確認してから、発表者位置に移動してください。
6. 自分の発表が終わったら、画面表示をFn+F3で内蔵モニタに戻し、次演者席に戻ってから接続ケーブル等を取り外してください。

注意:表示を戻してから切り替えないと、再起動しても内蔵モニタに表示されないことがあります。

(Mac OS機(VGAディスプレイアダプタを使う機種))

外部モニタの接続にVGAディスプレイアダプタを使う機種(VGAビデオ出力ポートを装備したiBook)の場合、PCが起動状態のままアダプタを接続すれば、自動的にビデオミラーリングモードに切り替わります。

1. PCを起動し、発表に必要な書類やプログラムを開いておきます。
2. 接続ケーブルをアダプタに接続し、アダプタをPCのVGAビデオ出力ポートに接続します。
3. 発表時間になったら、**係が**モニタ切替スイッチを切り替えます。
4. スクリーンに画面が表示されたのを確認してから、発表者位置に移動してください。
5. 自分の発表が終わったら、接続ケーブルを取り外してください。

VGAディスプレイアダプタ
(各自でご持参ください)



(その他のMac OS機)

Mac OS機では、外部モニタが接続されているとき、内蔵モニタと外部モニタに連続した画面(デュアルディスプレイモード)または、同一の画面(ビデオミラーリング)のいずれかを表示できます。

1. PCを起動し、発表に必要な書類やプログラムを開いておきます。

2. PCをスリープの状態にします。

注意:PCが起動するとき、またはスリープの状態が解除されるときに外部モニタが接続されていないと、外部モニタは認識されません。

3. 直前の発表までに、空いている接続ケーブルをPCの後部にある外部モニタポートにつなぎます。DVIポートを装備したPowerBook G4の場合には、DVI-VGA アダプタを介して接続します。

4. 発表時間になったら、**係**がモニタ切替スイッチを切り替えます。

5. スリープ機能を解除します。液晶プロジェクターに画面が表示されます。

6. はじめPCは自動的にデュアルディスプレイモードになっています。PCのモニタと液晶プロジェクターに同じ画像を表示するためには、コントロールバーの「ビデオミラーリング」ボタンを使用します。

7. スクリーンに画面が表示されたのを確認してから、発表者位置に移動してください。

8. 自分の発表が終わったら、PCをスリープの状態にし、接続ケーブルを取り外してください。

DVI-VGA アダプタ
(各自でご持参ください)



(その他)

- ・不安定なPCを使うのはトラブルの元です。PCの具合が悪かったらソフトウェアをインストールし直すなどして、調子を整えておきましょう。
- ・発表中にPCが省電力モードになって画面が消えたりしないよう、PCの設定を省電力モードにならないように変更しておきましょう。

以上、液晶プロジェクターによる口頭発表を成功させるため、ご協力をよろしくお願いいたします。

**引用：高分子学会 液晶プロジェクターの使用について「利用上の注意事項」
北関東医学会 - 液晶プロジェクターの使用について -**